



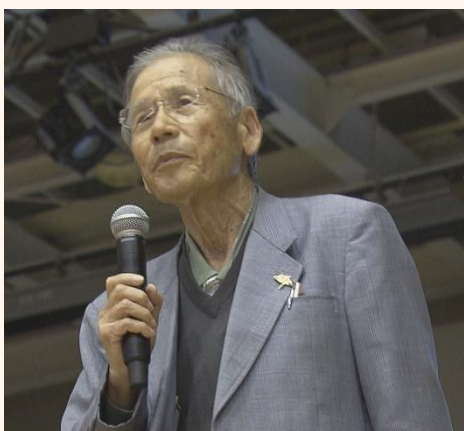
2025年6月

RCC被爆80年テーマソング『ほしになった町』 歌で未来へ 平和をつなぐ

RCC被爆80年のテーマソング『ほしになった町』を歌う シンガーソングライターHIPPYさんとRCCは、歌で平和をつなぐイベントを実施しました。
特別企画RCC SCHOOLでは、HIPPYさんが母校の崇徳学園を被爆者の内藤達郎さんと訪問。全校およそ1400人に『ほしになった町』の生歌を披露しました。

またHIPPYさんのメジャーデビュー10周年を記念したコンサートでは、崇徳中高グリークラブも舞台にあがり、『ほしになった町』を満席のサンプラザで歌いました。「原爆の炎に染まった空は夕焼けのようだった。だからオレンジ色の夕焼けが嫌い」と語った被爆者の方たちを想って HIPPYが会場で作り出したのはー

■ 母校・崇徳学園で「歌で平和をつなぐ」(6月5日RCC SCHOOL)



内藤達郎さん。3歳の時に爆心地から4.8キロの自宅で被爆。
「目覚めた時、今日が安心して迎えられ、自分や愛する人が危険にさらされることのない世界を確信することが平和」と語った。



手前(右)内藤さん (中央)HIPPYさん
(左)田村友里アナウンサー

歌詞

♪この愛を続けようよ
僕は君を信じてる
僕らつなぐピースサイン
分かち合える 明日を願うー

歌詞は、「中島本町で被爆し今もみつからない僕」の想いを「次世代の君」へとつないだものです。原爆によって「消えた町」は広島に多くあります。爆心近くの「中島本町」もそのひとつですが、若い世代(次世代の君)に知られてはいません。あえて歌詞に町の名をいれたことで、自ら調べて(検索して)みるきっかけとなり、「消えた町、くらし、ひと、想い」に気づいてもらえたらと願っています。
また被爆、平和の歌としては少しポップに感じられるかもしれませんが。そこには被爆80年の今年に限らず、原爆の日という枠も超えて、未来に向けて、歌い、つないでいってほしいというHIPPYとRCCの想いが込められています。

■ 中高生と『ほしになった町』を歌唱(6月14日HIPPYサンプラザ公演)



リハーサルをする崇徳中学・高校グリークラブ



HIPPYさんの呼びかけでオレンジ色となったアリーナ



夕焼けが嫌いだと言った先輩に、この街に 希望のオレンジをプレゼントしたい。会場を笑顔とオレンジで一杯にしよう。今を、この命を胸張って楽しむ。僕たちのピースアクション。

(HIPPY公式Xより)

約4000人の来場者には親子連れも目立った『ほしになった町』の想いを届ける

RCC被爆80年テーマソング ほしになった町

作詞:HIPPY, AKIRA 作曲:HIPPY, AKIRA



いつも歩く道
空の飛行機とかくれんぼ
もういいかい?もういいよ
まだ誰も見つけてくれなくて

中島本町
空が真っ赤に染まってさ
大好きを奪った色だ
夕焼けは大っきらいさ

いくつもの痛み
いくつもの涙
諦めない強さを
この空は知っている
僕の街で祈る君へ
境目ないこの空のように
ほら僕はここにいる
友達になってくれないか

暮らしのカケラと
とうさん かあさんの面影が
もういいかい?まあだだよ
僕は2人が生きた証さ

夢を叶えて
ずっと素晴らしい未来へ
ほんの少しでもいい
僕の痛みも道連れにして

ほしになった町
君が歩く地球(ほし)
振り返れない傷跡
この空は知っている
ありがとうと愛してると
言えるねそれが嬉しい
ほら僕はここにいる
命を称えてくれないか

この愛を続けようよ
僕は君を信じてる
僕らつなぐピースサイン
分かち合える明日を願う

いくつもの痛み
いくつもの涙
諦めない強さを
この空は知っている
僕の街で祈る君へ
境目ないこの空のように
ほら僕はここにいる
友達になってくれないか

